日向市広報

発行所　宮崎県日向市役所
発行人　日向市長
編集人　市長室広報係
印刷所　安藤印刷所
電話64番

現住人口表
（11月末日現在）
男　19.315人
女　19.996人
計39.311人（＋53人）
世帯総数
8.143世帯（－6）

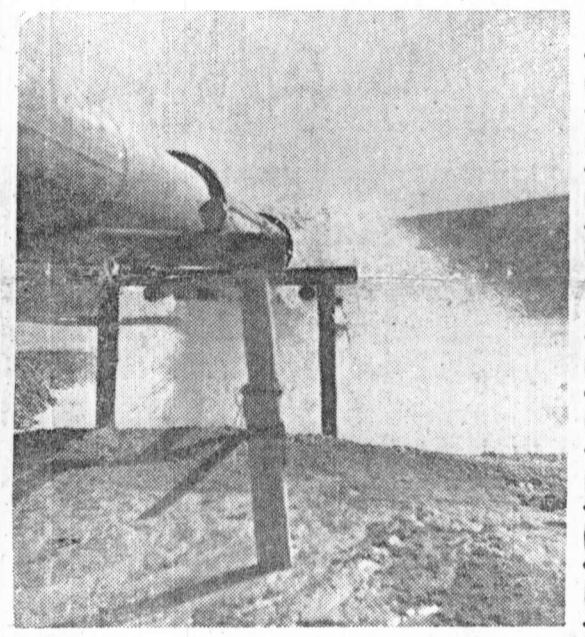
新民生委員きまる！

こんど改選された新民生委員五十名（女十名）は推せん委員会はじめ広く市民の信望を担つて、厚生大臣の委嘱をうけ向う三年間本市の社会福祉の増進に積極的な活躍をして下さることになつています。
委員の氏名と担当区は次の通りです。（敬称略）

馬場義太郎（上町二区）
日吉　善平（上町一区）
河野　健（本町旭通）
田村　栄一（南町中町）
倉掛　ベン（中央草場）
長曽我部あいの（本谷西川内）
大坪　静枝（広見中原）
鈴木　孝（新財市）
伊達孫右ェ門（中村）
高橋　実（奥野）
黒木　六助（永田）
山中　精蔵（山下）
黒木仁平治（村往還）
河野　喜市（切島松原）
三浦マツエ（上原町、下原町）
本宮　音吉（江良）
小原　道雄（堀一方）
三樹　宗一（曽根）
柏田茂三郎（畑浦）
成合　藤作（亀崎、鶴町）
野並　武彦（庄手）
沖江　政枝（清正、吉野川、地蔵）
江川　菱枝（八幡、伊勢）
是沢光次郎（高々谷）
児玉吉五郎（宮ノ上）
黒木　新蔵（秋当）
児玉　モヨ（曙美砂）
児玉　伝一（本宮）
渡辺　義久（笹野東）
児玉　重雄（笹野、中西）
児玉　唯治（金ケ浜）
松葉　明治（鵜毛）
川野　佐一（籾木）
柄本キクヨ（遠見）
福田　正行（幸脇東）
安藤　吉広（幸脇中）
塩月　勇（幸脇西）
黒木　栄治（飯谷、鳥川）
八尋　洲光（新町別府）
大塚　シズ（上町）
渡辺　治（下中町）
森下　次蔵（石並）
橋口　佐七（駅通）
長野今朝市（落鹿）
黒木　安一（高松）
黒木嘉次郎（宮の下）
野別　ナツ（田の原）
黒木　久助（余瀬）
安藤敦子（庄手向、八坂）

進んでいる工場誘致

工場誘致問題については、今までの約一年間にわたる大体の経過について、別稿「回顧昭和三十一年の市政のあゆみ」の中にお知らせしてありますがこの問題については、県当局はあらゆる観点に立つて、慎重に研究され、工場の廃水が門川町の漁民の生活に悪い影響を及ぼさぬように、非常な努力をされております。
その後県当局は確信ある調査研究がなされた模様で、漁民代表や県内経済界代表などと協議をされ、この問題はようやく実る秋を迎えようとしております。
百十万県民が久しく待望してきた大工場誘致、日向市民が毎年々々夢にみてきた細島臨海工業地帯の実現、この本県のホープともゆうべき工場誘致、後進県の本県が一歩前進しようとするこの工業の導入、これは誰ひとり否定する者はありません。
そして一日も早い決定を望む声が県民の絶対多数でありますけれども、廃水についての漁民の反対する立場も充分検討し、問題を正しく解決するため、県当局としても民主的な政治の在り方として、充分検討されている訳です。東洋紡績誘致は決して停滞しているのではなく、以上申上げるように進められているのでありまして、おそらく正式決定をみるのもそう遅くないことでありましょう。



【写　真】
細島臨海工業地帯造成地第二期工事現場1.000馬力のサンド，ポンプ船は，海底から砂を吸い上げ猛烈な勢いで流し込んでいる。

市議会

美々津地区簡易水道など審議

十二月十九日、市議会十二月定例会を開くことが告示されました。
提出される議案は十三議案で次のとおりとなつています。

議案六十七号　専決事項承認について（簡易水道設置について）
議案六十八号　〃　（市起債及び償還方法について（上水道事業）
議案六十九号　日向市特別職の給与に関する条例の一部改正について（区長手当）
議案七十号　寄附採納について（細島英魂追悼会不動産）
議案七十一号　土地建物処分について（日知屋字中原、宅地五六坪、建物三九坪）
議案七十二号　市起債及び償還方法について（富高小学校増築事業資金）
議案七十三号　〃（細島小学校改築事業資金）
議案七十四号　市起債及び償還方法について（美々津小学校改築事業資金）
議案七十五号　〃　臨海工業地帯造成事業負担金資金）
議案七十六号　〃　（屠場浄化槽建設事業資金）
議案七十七号　昭和三十一年度日向市一般会計歳入歳出予算追加更正について
議案七十八号　昭和三十一年度日向市災害耕地復旧事業特別会計歳入歳出予算追加更正について
議案七十九号　昭和三十一年度日向市公益質屋特別会計歳入歳出予算追加更正について

回顧

昭和31年の市政のあゆみ

今年の市政を回顧して最も大きい問題は、細島臨海工業地帯造成地の第一区第一期工事完成に伴う、工場誘致問題でありましよう。
昨年九月宮崎県知事から野口研究所に「細島臨海工業地帯産業立地」調査が依頼されてから一月三十一日には同研究所宗像理事長外調査団が最終調査のため現地調査に来市、一月二十六日には東洋パルプから、一月二十八日には中越パルプから調査団が相次いで来市、さらに三月二十日には東洋パルプ伊藤忠兵衛会長一行で再度の視察を行い、同月二十七日には鉄興社佐野社長一行が視察のため来市、東洋紡績も視察するに到つてにわかに日向市は工場設置のための視察で、脚光を浴びてきました。
一方門川町の漁業組合は、パルプ工場誘致反対を叫び出し、三月七日には門川町議会が反対声明書を発表し、工場誘致問題が具体的に進展すると同時に、この反対運動は拡がつていつたのであります。しかるに地元富島漁協は県是であり市の希望である工場誘致に絶対協力の態度でこの問題に望み、そのため漁協仲間に孤立の立場となり、遂に連合会の除名をうけるまでになりましたが、微動もせず大方針のため協力体制を崩しておりません。
この間に東洋紡績は調査計画を進め、五月七日県議会全員協議会で、黒木副知事は工場誘致問題について報告し『東洋紡績がほぼ確定的であるが、東洋パルプその他の工場の希望もあり、漁協の反対運動があるので、まだ確定ではない」と言明、東洋紡績の総務部長談も新聞に報道されて、こゝにわが国総合せん維工業界第一の会社東洋紡が、宮崎県に誘致できるということで、この問題は一大飛躍して報道界をにぎやかにしました。
工場誘致は百万県民要望の県是としてまた日向市としても絶対的のものであり、願つてもないような千載一遇のチャンスを迎えながら確定に到つてないことは、遺憾なことでありますが、県当局首脳部、その他関係者は年内に解決したいと折角努力中であります。

市財政の健全化につとむ

また市財政の健全化をはかり、早急に健全財政に立ち直るため、地方財政再建促進特別措置法の適用をうけることゝなり、当市の赤字三千一百万円を一応解消してバランスをとるための財政再建計画書を九月十三日の市議会で議決しております。
一方市民の市税納入の意識も漸次高まつてきており、本年度は昨年度に比べて徴収率も約三%上昇しましたが、数字を申上げてみますと、本年度市税十月末現在調定額は七千四百四十五万二千円、これに対し徴収額は二千七百三十八万六千円で、三十六%となつておりまして、まだまだ市民の協力が必要であること申すまでもなく、十二月一日から税務課では全員徴収で馬力をかけています。

都市計画

大日向市建設のための基礎づくりとして、都市計画区画整理事業が始つたことも特記すべきことでありましよう。本年としては内部設計の段階ではありますが、港湾工業都市として発展していく市街地の基礎造りとして日知屋原平地の区画整理事業はその第一歩といえましよう。
その他この一年の市政メモをめくつてかえりみながら来る年の日向市の課題を考えてみたいと思います。

（1月）
1日　年賀名刺交換会、5日　日向市消防出初式、13日　水稲早期栽培講習会、15日　成人式
24日　日向市公益質屋を旧富高小学校跡に開設、
25日　市議会全員協議会

（2月）
6日　民生常務委員会、8日　市議会臨時会、10～18日　一般結核精密検診、9日　市教育委員定例会、20～24日　定期種痘

（3月）
2日　春季仔牛品評会、6日　工場磐致特別委員会、農業委員会、8日　教育委員定例会、11日　工場誘致説明会（旧高校講堂）市議会定例会、15日　市営住宅申込締切、25日　美々津漁協築磯実施31日　亀崎通線道路完成、（日知屋）岡道路完成（岩脇）、財光寺市営住宅竣工（二十七戸）31日　上水道配水本管工事（延長四、四二五メートル）完成、送水本管工事（延長二、四五〇メートル）完成、

（4月）
3日　仔牛セリ市、美々津合併一年記念式、上水道第一水源ポンプ工事竣工（永田）14～日15日　綾部つつじ祭、20日　臨海工業地帯特別委員会　25日日向市戦没者合同慰霊祭（定善寺）

（5月）
2日　優良農家表彰式、4日　第一回区長総会、5日　よい子表彰10日教育委員会、15日　納税準備貯蓄組合表彰式、16日　市議会全員協議会、17日　馬の流行性脳炎予防注射始める、観音寺花祭り29日　イクイバエ灯台竣工祝賀会30～日31日　市議会臨時会

（6月）
1日　養老院創立五周年記念式、2日区長臨時総会、4日　果樹園芸組合総会、6日　農業委員会、14日　教育委員会20日　新田博士汚水関係調査、22日　乳児表彰式、28日　市議会定例会

（7月）
2日　市社会福祉協議会役員改選、市観光絵はがき写真審査発表、4日　仔牛品評会、8日参議員選挙、10日　民生常務委員会、12日　教育委員会、14日農業委員会、17日工場誘致特別委員会、23日細島港祭、24日　工場誘致特別委、25日　市職員採用試験28日　仔牛セリ市、31日市消防団水防演習（幸脇）

（8月）
2日　市街地下水溝清掃始む、21日　市議会全員協議会、22日　細島小学校新築第一期工事落成

（9月）
2日　市青年団体育大会、5日　市婦人団体連絡協議会総会、10日～13日　市議会臨時会、14日　市消防操法大会、葉たばこ品評会、15日　としより福祉週間実施、18日十五夜祭、25日～28日工場誘致特別委、30日岩崎道路完成（広見）遠見道路完成（幸脇）

（10月）
1日　新教育委員会制度による新教育委員五氏任命式、3日　工場誘致委、14日　財光寺土地改良竣工式、15日　市議会臨時会、16日　仔牛品評会21日　美々津町市民運動会22日堆肥審査始む、23日細島築磯実施、経済委員会公聴会、26日　水稲早期栽培協議会、

（11月）
2日　浄水場ポンプ室その他工事入札、12日　日向市産業祭打合せ会、14日　教育委員会、立磐神社大祭、27日　工場誘致委員会

（12月）
2日　富高小学校増築工事入札、6日美々津小学校新築第二期工事着工、上水道配水本管工事入札、7日～8日　日向市産業振興祭

年始廻りの合理化

市役所職員組合では旧来個個別々に市長、助役、収入役、各課長宅へ年始まわりをしていたのを一切とりやめて、元日に行われる名刺交換会のあと引続き全員市役所に集つて三役と親しく年頭の挨拶をとりかわすこととし、早速実行することになりました。

（新年名刺交換会）

恒例によりまして、新年名刺交換会を次のとおり開催いたします。
新生活運動の一環として虚礼とお互の年始廻りを廃止し、この会で各位の前途を祝福したいと存じますので、多数御参加下さい。

主催　日向市
日時　一月一日午前十一時
会場　旧富島高校講堂
会費百五十円（前納）
申込　十二月二十日まで
市役所市長室

名簿印刷の都合もありますので、住所、職業、氏名を書き会費を添えて早目にお申込み下さい。
別に案内状はさし上げませんが、時刻厳守定刻まで御参集下さい。
名刺交換の代りに名簿を印刷して当日さし上げます。

年末年始の執務

これは日頃新生活運動をよびかけている市役所職員が先づもつて範を示そうと言うわけ。
市役所では年末年始の執務は次のとおりですから、御了承下さい。
○御用納め二十八日
○二十九日から一月三日まで休業
但し当直者は勤務していますので、お急ぎの用件はお申出下さい。

愛の贈り物を！

年末たすけ合い運動

日向市社会福祉協議会では十日から二十日まで年末扶合い運動を強力に推進して、市内生活困窮者などへ年末の愛の贈物を集めていますので一人でも多くの方々へ御協力をよびかけています。

この運動はNHKと共に行なわれるもので年の瀬を迎える生活困窮者、入院患者、孤児、身体の不自由な子供などへさゝやかでも温い愛の手をさしのべて、共にせちがらいながらも明るく楽しいお正月を迎えることが出来るように展開されるものです。

また運動の推進母体は婦人連絡協議会ですが、今年は特に女子高校生も『年末扶合運動』と朱記した腕章をつけて百名が自発的に協力することになっています。

集められる金品は現金、白米、もち、衣類、身廻、日用、学用品、菓子、玩具等となっており二十日迄に婦協、女子高校生が集めて廻ります。

盛会だつた市産業祭

女高生の人気はレッテル集に

日向市産業振興祭は八、九日の二日間に亘って、旧高校校舎で催されましたが、両日とも非常に盛会でした。

農産館には普通作物、そ菜果実、花茶、畜産、加工品など四七三点の他近郷町村の木炭四五八点を加え、また商工水産館には各種加工品、写真など千五百点の他本年は特に県下で始めて行われました六大都市及び全国七十市からの包装紙とレッテル等の展示が特に人気をさらっておりました。

なお入場先着者には抽せんによって黒木正男（江良）さん他二百名に夫々景品がわたされました。

なお出品物の入賞者に農産関係一六九点、木炭関係八六点となっていますが優等入賞者は次の通りとなっています。

◇普通作物＝幸崎五十四（奥野）、黒木秀男（西川内）以上玄米、海野正義（美々津）水稲

◇そ菜＝奈須昭美（中村）白菜、坂元正行（奥野）馬鈴薯黒木堀一（永田）大根、黒木他人（永田）にんじん

◇果実＝西田一雄（梶木）みかん

◇農産加工＝赤木正朔（幸脇）茶

◇せんい＝鈴木道夫（奥野）ラミー

◇養蚕＝奈須ナミエ（奥野）繭

◇畜産＝長友栄太郎（山下）卵

◇各種品評会結果＝黒木清次郎（切島）堆肥、黒田忠市（小原）果樹園、児玉唯治（中別府）馬鈴薯

◇木炭＝黒木積（日向市）、鍋島元治（門川町）、田口定信（南郷村）

【写真】農産館出品物の審査を行っているところ。

衛生だより

私たちの日向市をもうすこし清潔な街にしましょう

最近市内のあちらこちらにちり溜ができていて、見た目にもたいへん汚いし、公衆衛生上まことに寒心に堪えません。これは市の方にも責任があり、行届かない点があることは承知しています。現在財政上ちりは業者を一人指定して、オート三輪一台で収集していますが、ふん尿と両方ですから隅々まで、手が廻りかねるわけであります。そこで昭和三十二年からは、塵芥焼却場を設けるとともに、人員設備を強化して、市直営事業に移すように計画しています。これが実現すれば、現在御迷惑をおかけしているふん尿とともに、完全に収集できることゝ思われますが、それまでの間、ぜひ次のことを実行して、お互に清潔な感じのよい街にしようではありませんか。

◎市街地にお住いの方はぜひフタ付のちり箱を備付けてください。

ちり箱はコールタール引にしますと衛生的でもあり、長持いたします。

◎ごみ、燃えがら等は指定業者に収集させるか又は埋立てか表面を適当なものでおおうこと。

ごみ、燃えがら等の収集については、市清掃条例により次の範囲で手数料を徴集します。

一級一カ月	五〇円
二級一カ月	一〇〇円
三級一カ月	一五〇円

なおふん尿は一樽（一、五斗）につき一五円、犬、ねこの死体一頭につき一〇〇円となっています。それから特別大口のごみ、ふん尿等は、右の規定に拘らず、業者は別に契約できることになっています。

自分で捨てるときは財光寺旧飛行場附近の市の指定場所に捨てること。指定場所以外の土地、海岸から二百米以内の海面、河川、湖、沼、その他公共の水域にごみ又はふん尿を捨てると、清掃法により三万円以下の罰金、拘留若くは科料に処せられることがあります。

◎市街地以外にお住いの方は、ごみは埋めるか焼くかすること

焼くときは火事にならないよう、気をつけねばならないことは申すまでもありません。ちり溜をいつまでも放任しておくと、汚いばかりでなく、ハエの発生場所となり、伝染病の温床ともなります。

以上市民の皆様の御協力の下に、一日も早くちり溜等の見当らない清潔な街になることを願っています。

来年の市政に望む

原稿募集

のこり少くなった三十一年は工場誘致に明け暮れた感じですが、市内のあちこちには道路が出来、学校が新築されるなど数々の進展をみました。

そこでこの進歩をさらに進めるために、広く皆さんの積極的なしかも建設的なお考え、ご要望を率直におきかせ下さい。原稿は一月号広報に掲載予定ですから振って応募下さい。

◇締切＝十二月二十五日

◇宛先＝市役所市長室広報係

◇方法＝はがき使用、住所、氏名、年令職業名記。

納税目標額にあと一歩

市税納入に御協力を！

納税につきましては、この一年を省みまして、皆様方の御協力に対しまして感謝いたしております。

当市の納税成績は昨年の後半より月を追うて向上し、市税務課でたてております目標額にあと一歩とゆうところにきております。

しかし過去数年にわたる多額の滞納一掃のため、法に許された範囲内において、最大限納税者に有利にとつて、納税者の苦痛感を最少限に止めて、従来の滞納を整理していただくよう色々方法を講じてきたのでありますが、中には何ら誠意を示されない少数悪質滞納者に対しましては、やむなく財産差押、公売処分の最後の手段をとらざるを得ないものもありましたことは、甚だ遺憾であります。

これは当然の処置であり、他市におきましても、どしどし実行されていることでありますが出来る限りこの方法は差控えたいものであります。

しかしながら物事万事限度がありますように、滞納整理については一定限以上の期間を経過しますと、穏便主義ばかりでは通されないことになるのであります。

御承知のように、役所の収支の締切りは毎年三月末となっておりますが、本月は一般家庭の収支の総決算月でありますので、納税につきましても特に本月は、市民皆様の意識を高めていただきますとともに、滞納のある方は特別の御努力を願い完納につとめられるようお願いします。

年内納入について誠意を示されない方に対しましては、不本意ながら年明けとともに早速強制整理を進める方針を税務課でははたてております。

本年の最後に市民の皆様に申上る言葉として、誠に失礼なようですが、市財政確立のため御協力の意味で御諒承下さるようおねがいいたします。

●●●